

# 自治協 ニュース

第0109号

発行者  
八本松住民  
自治協議会

R02. 02. 20

# 家族そろって とんど祭

## 子どもたちも力を発揮

### 伝統行事の継承

自治協文化部会  
とんどまつり実行委員会



今年の願いを込めて勢いよく燃え上がる大小2基の「とんど」

2月2日(日)八本松小学校グラウンドで伝統の「八本松とんど祭」が盛大に行われた。天候にも恵まれ参加者は1000人を超える盛況ぶり。新谷国会議員や高垣市長も訪れ開会式典に花を添えた。



ご家族や仲間と

かわいいね

今年のとんど祭は、「伝えよう子どもたちに！地域の伝統行事」をテーマに行われ、前日の準備段階から50名近くの子どもたちが作業に加わった。特に、八本松中学校野球部の皆さんは、竹の



子どもたちも大活躍 とんどづくり

大竹の運搬



仲良しグループ

運搬や枝払い等とどんのづくりに大きな力を発揮した。また、当日も早朝から子どもたちが、とんどづくりに携わり実行委員の皆さんとともに巨大なとんどを作り上げた。



餅焼き用の竹づくり



おいしそう

14人の小学生の手で二つのとんどに点火され、小学生の書初めや「この一年無災害でありますように！」等と書かれた幟をまきこみ、勢いよく燃え上がった。餅焼きでは、かわいらしい餅から



藁でとんどを化粧



いつも元気

巨大な鏡餅まで「おき」の周りにずらりと並べられ、家族そろっての餅焼き。焼きたてのお餅を子どもたちと一緒に食べる微笑ましい風景が多く見られ、大人の方にも記憶に残る楽しい「とんど祭」となった。



書初めの取り付け

八小5年生  
防災学習

# 八本松の防災のしくみ 段ボールベットづくり

## 実体験をとおり次世代へ継承する防災

総合的な  
学習の時間

# 児童に防災意識のめばえ

1月9日(木)、八本松小学校(校長 土肥美由紀)は、昨年12月に実施した防災学習「西日本豪雨跡地の見学」に続き、八本松小学校区の防災の仕組みやその働きについて学び、実際に段ボールベット作りに挑戦した。



協力して作業する児童 1クラス4人一組で8台の段ボールベットを作る



家でしっかり防災について話し合いを

防災の仕組みとは、  
「5年前に自治協を  
中心に仕組みを作り、  
各地域で防災マップ  
作りや防災訓練を行っ  
たことが一昨年の西  
日本豪雨災害に役立っ  
たことや、今後の災  
害に備え個人の防災  
能力向上を目指してい  
るんな対応をしている  
。みなさんも家庭



体の不自由な方を思い制作を

でしっかり防災につ  
いて話し合っていてほ  
しい」と自治協の土久  
岡、牧野、景山氏ら  
が説明した。  
段ボールベット作  
りは、24個の段ボ  
ール箱を組み合わせて  
一台のベット作るも  
ので大人でも大変な  
作業。各学級で4人  
が1グループとなり  
短時間に8台のベッ  
トを作成。作成後、  
ベットのより強度や  
寝心地を体験した。  
児童に感想を聞く  
と、「災害時に避難  
する人が少ない。家  
に帰って避難につ  
いて話し合いたい。段  
ボールベットは見た



段ボールベットの上に乗って強度を確認する児童

目は弱そうだが思っ  
た以上に丈夫なのに  
驚いた。また、みん  
なで協力しないとで  
きないと感じた。今  
後も災害についてし  
っかり学びたい」等  
の意見が出た。  
この総合的な学習  
の時間が現実の災害  
や防災実績を題材と  
して実施されたこと  
から児童に防災意識  
がめばえ、災害継承  
に役立ったものと思  
われる。



パトロール隊のみなさん

1月5日(日)青  
少年育成部会(中森  
幸恵)は冬休み期間  
に合わせ、「夜の見  
回り活動」を実施。  
今回は、青少年育  
成部会の評議員の有  
志等10名が参加、青  
パト3台に分乗し、  
午後6時から1時間  
程度学校区内の大型  
商店、公園や併設の  
トイレ等を中心にパ  
トロールを実施した  
が不審者や一人で出  
歩く子どもは認めら  
れなかった。

## 冬休み 青少年育成部会 夜の見回り活動